

住家被害認定調査票  
(地震:木造・プレハブ 第1次A)

調査票  
番号

調査日 平成 × × 年 × × 月 × × 日

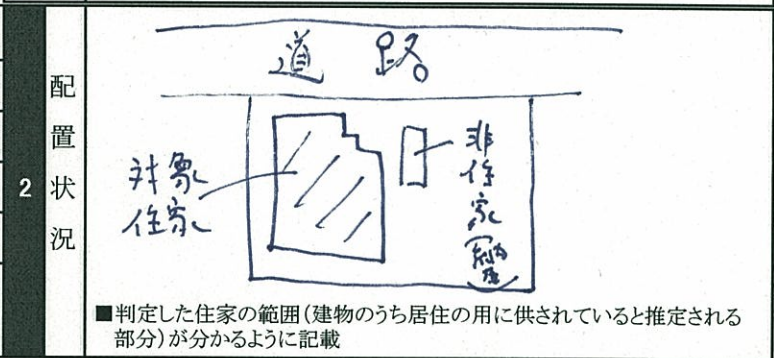
1 調査時 15:20 ~ 15:40

調査員 ぼうさい たろう

所在地 × × × × × × × ×

世帯主 × × × × × × × ×

備考



3 応急危険度判定

危険 要注意 調査済 不明

※応急危険度判定に記載されているコメントを転記

rf1

4 外観

住家全部が倒壊  
住家の一部の階が全部倒壊  
基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有

該当あり → 判定へ (全壊)

5 傾斜

測定箇所	①	②	③	④	平均値
水平距離 (cm)	2	2	2	2	2

6cm以上 → 判定へ (全壊)

6 躯体

基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)

損傷率 75%以上 → 判定へ (全壊)

7 基礎

損傷率	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
損害割合	1	2	4	6	7

8 壁

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
無被害	0	0	0	0	0	0
程度 I	1	2	3	5	6	8
程度 II	2	4	8	12	16	20
程度 III	4	8	16	24	32	40
程度 IV	6	12	24	36	48	60
程度 V	8	16	32	48	64	80

9 屋根

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
無被害	0	0	0	0	0	0
程度 I	0	0	0	1	1	1
程度 II	0	1	1	2	2	3
程度 III	1	1	2	3	4	5
程度 IV	1	2	3	5	6	8
程度 V	1	2	4	6	8	10

損害割合算出表 (注)「5傾斜」の平均値が2cm以上の場合、「計あ」と「計い」のうち大きい値を損害割合とする。

	7基礎	+ 8壁	+ 9屋根	= 計あ		傾斜	+ 9屋根	計い
傾斜無	2	30	3	35	傾斜有	15	3	18

判定

損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
35	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

調査日	平成 × × 年 × × 月 × × 日	配置 状 況	<p>■判定した住家の範囲(建物のうち居住の用に供されていると推定される部分)が分かるように記載</p>
1 調査時	15:20 ~ 15:40		
調査員	ぼうさい たろう		
所在地	× × × × × × × ×		
世帯主	× × × × × × × ×		
備考			

3 応急危険度判定

危険 要注意 調査済 不明

※応急危険度判定に記載されているコメントを転記

781

4 外観

住家全部が倒壊  
住家の一部の階が全部倒壊  
基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有

該当あり → 判定へ (全壊)

5 傾斜

測定箇所	①	②	③	④	平均値
水平距離 (cm)	3	3	2	0	2

6cm以上 → 判定へ (全壊)

6 躯体

基礎の損傷率が75%以上である (損傷長/全長×100)

損傷率 75%以上 → 判定へ (全壊)

7 基礎	損害割合	1	2	4	6	7
------	------	---	---	---	---	---

8 壁	損害割合	8	16	32	48	80
-----	------	---	----	----	----	----

9 屋根	損害割合	1	2	4	6	10
------	------	---	---	---	---	----

備考

損害割合算出表

Aに該当かつBに該当 (傾斜有を計算)

- A 「5傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)である  
B 「8壁」の損害割合が8又は無記入である

上記以外  
(傾斜無を計算)

	7基礎	+ 8壁	+ 9屋根	= 計
傾斜無	2	32	4	38

	傾斜	+ 9屋根	= 計
傾斜有	15		

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	38	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

調査日	平成 × × 年 × × 月 × × 日	備 考
1 調査時	: ~ :	
調査員	ぼうさい たろう	
所在地	× × × × × × × ×	
世帯主	× × × × × × × ×	

2 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊している又は住家の一部の階が全部倒壊している <input type="checkbox"/> 地震に伴う地盤被害により基礎に著しい損傷がある	該当あり	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	--	------	--------------------------------------

3 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
	水平距離 (cm)	3	3	2	0	2		

4 基礎	損傷長	4 m	全長	40 m	損傷率 = 損傷長 / 全長 × 100	10	損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	-----	-----	----	------	----------------------	----	-----------	--------------------------------------

5 柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上	損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------------	---	-----------	--------------------------------------

2頁「6」以降へ

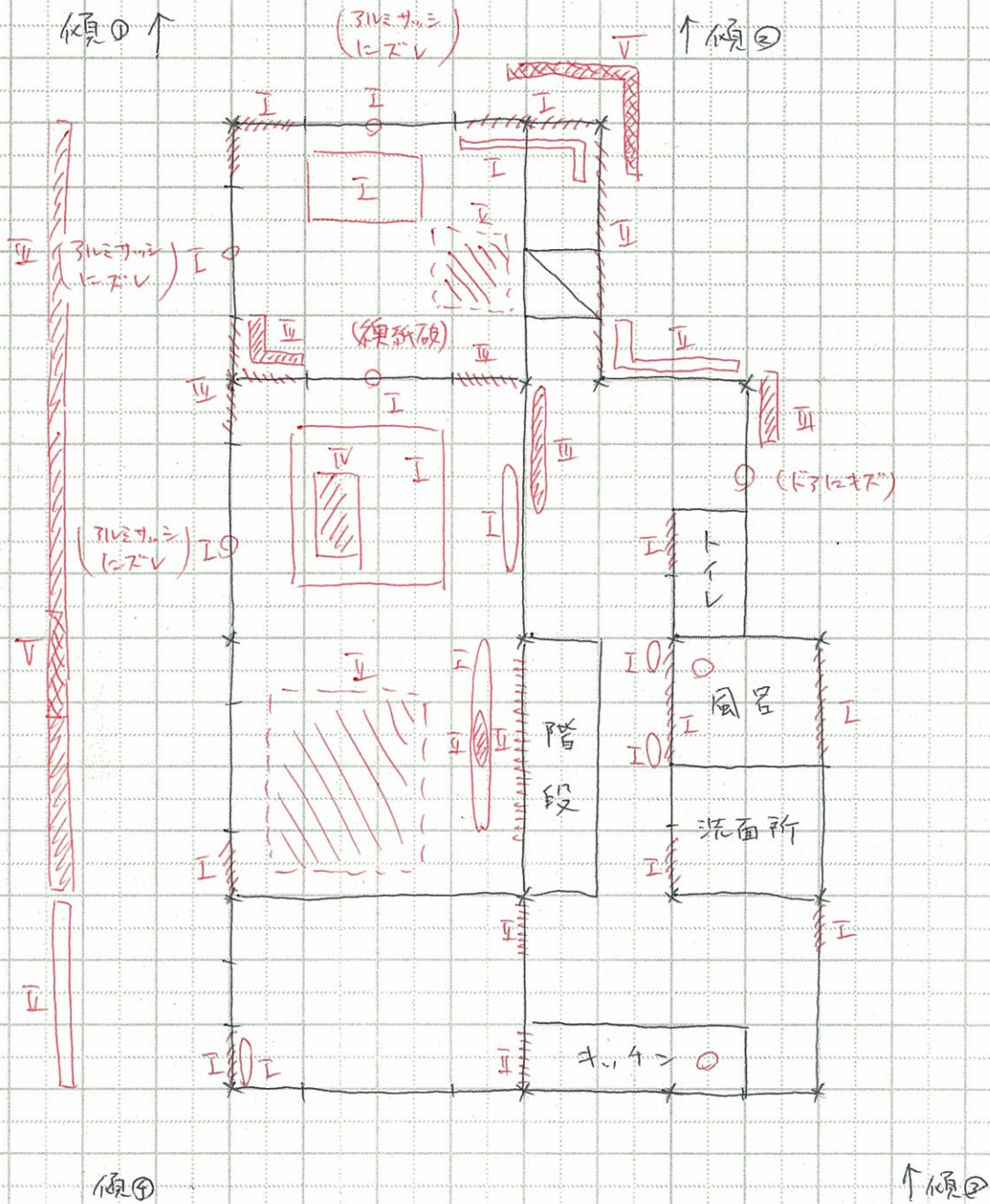
【損害割合算出表】

(注) この表における(1)~(8)は、調査票3頁の(1)~(8)の値とする

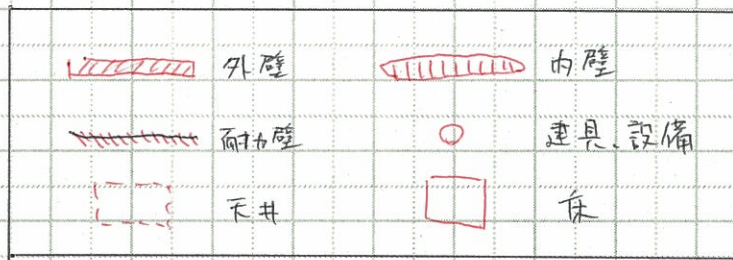
部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	部位別損害割合(採用値)	部位別損害割合(傾斜あり)
		主要階	その他階		主要階	その他階			
		(5)×(1) ※1	(6)×(2) ※2	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f	d列とg列のうち大きい値(a列の値以下) ※3	h
8 外壁	10	2.8	1.5	4.3	3.5	0.75	4	4	4
9 屋根	10	1.5	1.5	3.0	1.875	0.75	3	3	3
10 柱(又は耐力壁)	20	3.5	1.8	5.3	4.375	0.9	5	5	
11 天井	5	0.7	0.6	1.3	0.875	0.3	1	1	1
12 内壁	15	1.4	0.6	2.0	1.75	0.3	2	2	2
13 建具	10	0	0	0	0	0	0	0	0
14 床(階段含)	10	0.7	0.9	1.6	0.875	0.45	1	2	2
15 設備	10	2.1	0.3	2.4	2.625	0.15	3	3	3
3 傾斜	-	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜が2cm以上である (→傾斜による損害割合を15%とし、h列計とi列計のうち大きい値を損害割合とする)							15%
4 基礎	10	※1:屋根にあっては(5)×(3)、設備にあっては(7)の値を記入 ※2:屋根にあっては(6)×(4)、設備にあっては(8)の値を記入 ※3:基礎にあっては「4基礎」の損傷率×0.1の値を記入						1	
計								21	30

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	30	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

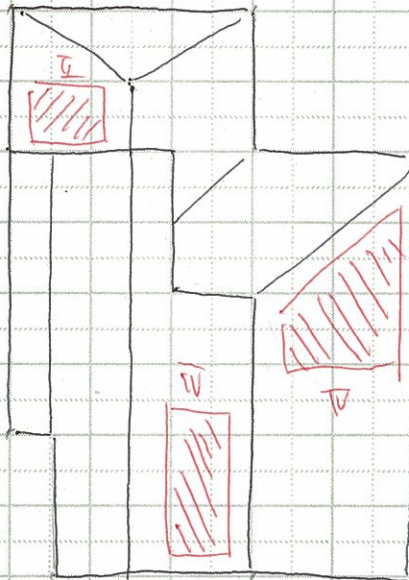
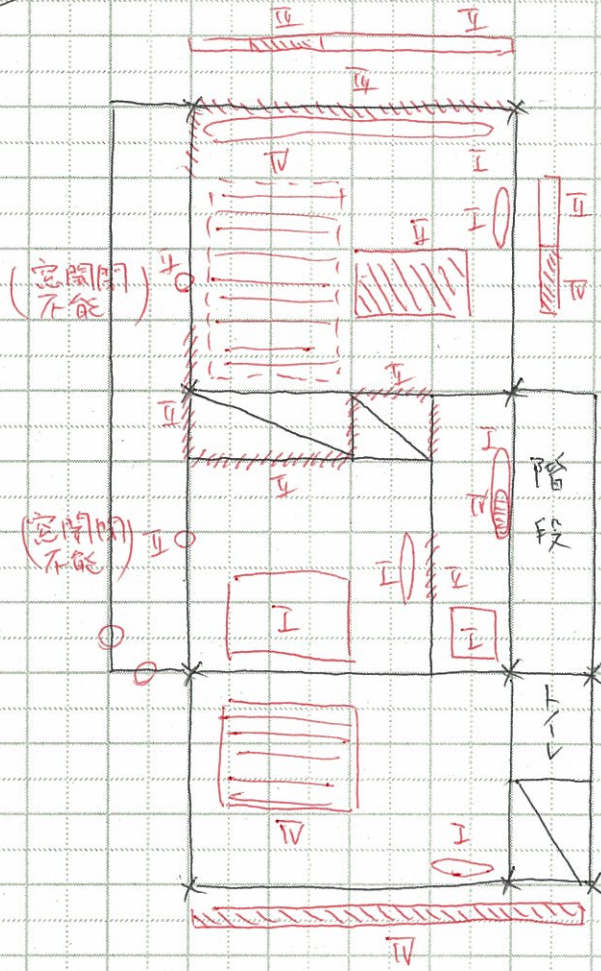
【 / 階平面図・屋根伏図】



6



【2階平面図・屋根伏図】



7	面積率	床	主要階				その他階			計		
			(1)				(2)					
			0.7				0.3			1.0		
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(5)	
8	外壁	10%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	4	
			程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
			程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
			程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
			程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
			程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(6)	
9	屋根	10%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	3	
			程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
			程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
			程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
			程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
			程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(7)	
10	柱 (又は耐力壁)	20%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	5	
			程度Ⅰ	0	0	1	1	2	2			
			程度Ⅱ	1	1	2	3	4	5			
			程度Ⅲ	1	2	4	6	8	10			
			程度Ⅳ	2	3	6	9	12	15			
			程度Ⅴ	2	4	8	12	16	20			
			主要階						その他階			
			本数(面積率)	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(8)	
11	天井	5%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	1	
			程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1			
			程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1			
			程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3			
			程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4			
			程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(9)	
12	内壁	15%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	2	
			程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
			程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
			程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
			程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
			程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(10)	
13	建具	10%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	0	
			程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
			程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
			程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
			程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
			程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
			主要階						その他階			
			枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(11)	
14	床 (階段含)	10%	無被害	0	0	0	0	0	0	0	1	
			程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
			程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
			程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
			程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
			程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
			主要階						その他階			
			面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	(12)	
15	設備	10%	浴室 (3%以内)	主要階 1% 配管のズレ等 その他階 2% バスタブの割れ等 3% 再使用が不可能	その他 (左記以外の水回り、 ベランダ等 4%以内)	主要階/その他階	損傷の状況	%	計	(7) 3		
			台所 (3%以内)	主要階 1% 配管のズレ等 その他階 2% 再使用は可能だが大きく破損 3% 再使用が不可能							(8) 1	

調査日 平成 × × 年 × 月 × 日

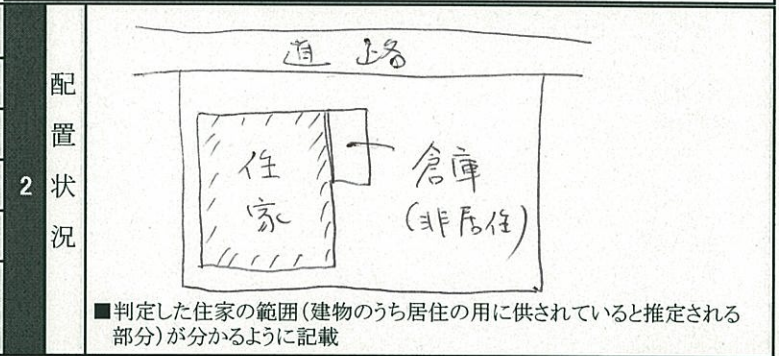
1 調査時 13:20 ~ 13:40

調査員 ないかく たろう

所在地 ×××××××

世帯主 ××× ×××

備考



3 外観 住家全部が倒壊  
住家の一部の階が全部倒壊 該当あり → 判定へ(全壊)

4 傾斜 測定箇所 ① ② ③ ④ 平均値  
水平距離(cm) 0 0 0 0 0 6cm以上 → 判定へ(全壊)

5 外力損傷 無し 有り 有り → 「7躯体」へ

6 浸水深 床上 床下 床下 → 判定へ(半壊に至らない)

7 躯体 基礎もしくは柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上である 損傷率 75%以上 → 判定へ(全壊)

8 基礎 外力等※ 損害割合 ~10% ~20% ~40% ~60% ~74% 計  
汚泥の堆積による損傷率 汚泥の堆積有り →  +1 「9」以降へ

※外力等による損傷率(損傷長/全長)

【損害割合算出表】 (注) この表における(1)~(8)は、調査票2頁の(1)~(8)の値とする

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	部位別損害割合(採用値)	部位別損害割合(傾斜あり)
		主要階	その他階		主要階	その他階			
		(5)×(1) ※1	(6)×(2) ※2	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f	d列とg列のうち大きい値(a列の値以下)※3	h
10 外壁	10	0			0			0	
11 屋根	10	0			0			0	
12 柱(又は耐力壁)	20	1.4		15%以上で全壊	1.75			2	
13 天井	5	0			0			0	
14 内壁	15	10.5			13.125			13	
15 建具	10	0.7			0.875			1	
16 床(階段含)	10	3.5			4.375			4	
17 設備	10	2.1			2.625			3	
4 傾斜	-	□傾斜が2cm以上である (→傾斜による損害割合を15%とし、h列計とi列計のうち大きい値を損害割合とする)							15%
8 基礎	10	※1:屋根にあっては(5)×(3)、設備にあっては(7)の値を記入 ※2:屋根にあっては(6)×(4)、設備にあっては(8)の値を記入 ※3:基礎にあっては「8基礎」の損害割合の値を記入						1	
計								24	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	24	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊





調査日	平成 × × 年 × 月 × 日
1 調査時	13:20 ~ 13:40
調査員	ないかく たろう
所在地	×××××××
世帯主	××× ×××
備考	

2 状況

■判定した住家の範囲(建物のうち居住の用に供されていると推定される部分)が分かるように記載

3 外観 住家全部が倒壊 住家の一部の階が全部倒壊

該当あり → 判定へ(全壊)

4 傾斜

測定箇所	①	②	③	④	平均値
水平距離 (cm)	2	2	3	3	2.5

平均値が4cm以上 → 4cm以上 → 判定へ(全壊)

4cm未満で基礎ぐいを用いる住家  
2cm以上かつ最大沈下量または最大露出量30cm以上 → 該当 → 判定へ(全壊)

5 柱梁の確認

ア外観目視により柱又は梁を確認できる場合  
6柱または梁、8雑壁・仕上等、9設備等を実施

イ外観目視により柱および梁を確認できない場合  
7外壁(\*), 9設備等を実施  
\*住家の外周壁の仕上部分とその下地部分

面積・本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
6 無被害	0	0	0	0	0	0	柱7 はり5
柱又は梁*(60%)	I	1	2	4	5	6	9
	II	2	3	6	9	12	
	III	3	6	12	18	24	
	IV	5	9	18	27	36	
	V	6	12	24	36	48	

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
7 無被害	0	0	0	0	0	0	
外壁(85%)	I	1	2	3	5	7	9
	II	2	3	6	9	12	21
	III	4	9	17	26	34	43
	IV	6	13	26	38	51	64
	V	9	17	37	51	68	85

\*柱又は梁のうち被害の大きい方を採用  
損害割合が45%以上の場合 → 判定へ(全壊)

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
8 無被害	0	0	0	0	0	0	
雑壁・仕上等(25%)	I	1	1	2	2	3	2
	II	1	1	3	4	5	
	III	1	3	5	8	10	
	IV	2	4	8	11	15	
	V	3	5	10	15	20	

設備	損傷の状況	損害割合	計
9 高架水槽・受水槽			
外部階段	一部崩壊	5	5
その他			

損害割合算出表 ア 外観目視により柱又は梁を確認できる場合

	4 傾斜	6 柱又は梁	8 雑壁・仕上等	9 設備等	合計
傾斜無	7	2	5		計あ 14
傾斜有	20	2	5		計い 27

損害割合算出表 イ 外観目視により柱および梁を確認できない場合

	4 傾斜	7 外壁	9 設備等	合計
傾斜無				計う
傾斜有	20			計え

(注)「4傾斜」の平均値が2cm以上の場合、「あ」と「い」あるいは「う」と「え」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	27	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

調査日 平成 ××年 ×月 ×日

1 調査時 10:00 ~ 11:00

調査員 ないかく たろう

所在地 ×××××××

世帯主 ××× ×××

備考

2 外観  住家全部が倒壊  住家の一部の階が全部倒壊

該当あり

→  判定へ (全壊)

→ 4cm以上

→ 4cm未満

基礎ぐいを用いる住家 → 該当 → 2cm以上かつ最大沈下量もしくは最大露出量30cm以上 → 該当 →  判定へ (全壊)

↓ 非該当

「4平面図作成」→「5構造の確認」へ

3 傾斜

測定箇所	①	②	③	④	平均値
水平距離 (cm)	2	2	3	3	2.5

5 構造の確認

鉄骨造の場合  
柱(本数で判定)  
↓ 柱が見えない場合  
耐力壁(ブレース数で判定)  
※損傷程度はⅢまで  
↓ 耐力壁が見えない場合  
外部仕上げ(面積で判定)  
※損傷程度はⅢまで

鉄筋コンクリートの場合  
→ ラーメン構造の場合  
柱(本数で判定)  
→ 壁式構造の場合  
耐力壁(面積で判定)

面積・本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
7 無被害	0	0	0	0	0	0	
柱/耐力壁/外部仕上	I	1	1	2	3	4	5
	II	1	3	5	8	10	13
	III	3	5	10	15	20	25
	IV	4	8	15	23	30	38
	V	5	10	20	30	40	50
50%							15

6 全壊確認 柱、耐力壁又は梁の損傷率が75%以上 該当  判定へ(全壊)

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
8 無被害	0	0	0	0	0	0	
床又は梁*	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							1

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9 無被害	0	0	0	0	0	0	
外部仕上・雑壁・屋根	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							1

\*床又は梁のうち被害の大きい方を採用

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
10 無被害	0	0	0	0	0	0	
内部仕上・天井	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							1

枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
11 無被害	0	0	0	0	0	0	
建具	I	0	0	0	0	0	1
	II	0	0	1	1	1	1
	III	0	1	1	2	2	3
	IV	0	1	2	2	3	4
	V	1	1	2	3	4	5
5%							0

設備	損傷の状況	損害割合	計
12 高架水槽・受水槽			
外部階段	一部崩れ	3	3
その他			
5%			

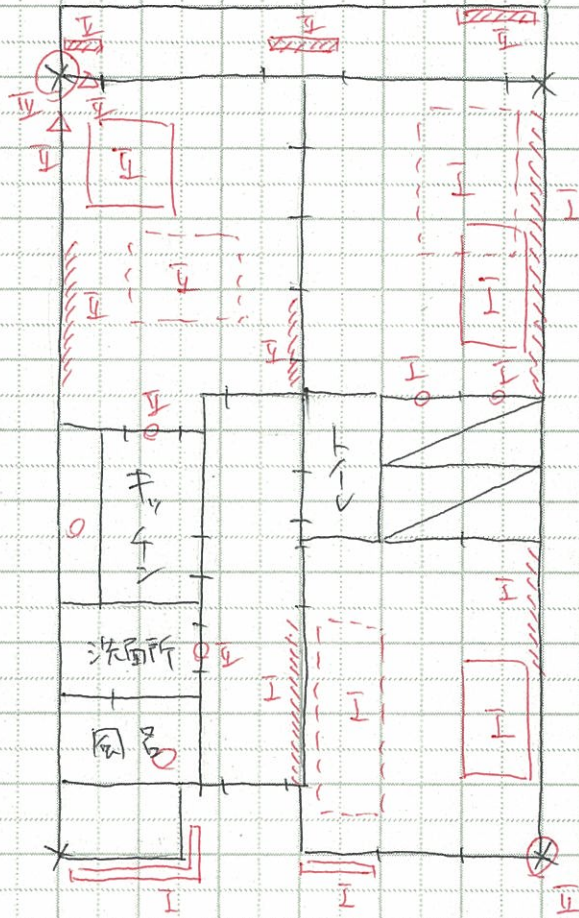
設備	損傷の状況	損害割合	計
13 システムキッチン (3%以内)	シンク 破損 再使用不可	3	
ユニットバス (3%以内)	バスタブ 破損 再使用不可	3	
その他 (4%以内)			
10%			6

損害割合算出表	3 傾斜	7 柱/耐力壁/外部仕上	8 床又は梁	9 外部仕上・雑壁・屋根	10 内部仕上・天井	11 建具	12 設備等(外部)	13 設備等(内部)	合計
傾斜無		15	1	1	1	0	3	6	計あ 27
傾斜有	20			1	1	0	3	6	計い 31

(注)「3傾斜」の平均値が2cm以上の場合、「計あ」と「計い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合		20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
	31		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

【 / 階平面図】



4

⊗	柱	内部仕上
□	床	天井
△	梁	建具
▨	外部仕上	設備